



LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

日比谷
データベース
講座

PICK UP VOL.22 朝日新聞クロスサーチ

「朝日新聞クロスサーチ」で振り返る日比谷の歴史

今年120周年を迎えた日比谷公園や100周年の野音の他、公会堂や図書館など、日比谷の歴史を「朝日新聞クロスサーチ」を使って振り返ります。通常のデータベースのご利用は館内端末までのご提供となりますが、当講座は講座用トライアルID(当日のみ有効)を利用して、ご持参のパソコンやタブレットでも受講できます。

- 日時: 8月24日(木) 18時~19時
- 講師: 鈴木 眞由美 (朝日新聞社 メディア事業本部 IP事業部)
- 会場: 2階 図書フロアカウンター前
- 参加費: 無料
- 申込・受付不要、途中参加・退席可 当日は直接会場へお越しください。

「朝日新聞クロスサーチ」とは?

昨年、「聞蔵IIビジュアル」から「朝日新聞クロスサーチ」に全面リニューアルし、横断検索やジャンル検索などの新機能が追加されました。朝日新聞の明治12年の創刊から現在までの約1650万件の記事・広告検索ができるほか、雑誌「AERA」「週刊朝日」も収録しています。地域面(沖縄を除く)も収録しており、全国の出来事も調べられます。人物データベースや歴史写真アーカイブ、アサヒグラフ、現代用語も検索できる、国内最大級の記事データベースです。

おすすめします!

図書フロアスタッフの推薦本を紹介します。

Happy Birthday Aug. 5th!



8月5日は人類で初めて月に降り立った、ニール・A・アームストロングの誕生日です。この本は、アームストロング公認の伝記です。彼は幼少の頃、本が大好きで1年で100冊読んだとの記述も。昨今、再び人類は月面着陸を目指しています。次の「ファースト・マン」に期待が高まります。

『ファースト・マン 上 初めて月に降り立った男、ニール・アームストロングの人生』

- ジェイムズ・R・ハンセン 著
- 日暮 雅通、水谷 淳 訳 ● 河出文庫 ● 2019年

8月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 三角台 「都市開発と保存〜日比谷通りの昔・今・これから〜」(〜11/17) NEW!

日比谷通り界隈では現在、再開発事業が行われています。本展示では、特に建物に注目して都市開発や建築に関する本を紹介し、再開発で新しく作られるものや、文化財として保存されるもの、変わるものと変えないものに目を向けていただければと思います。

2F パープルゾーン 三角台 「夏の自然観察」(8/9〜8/29) NEW!

植物・昆虫・鳥など生きものの生態や気象に関する本、写真撮影やスケッチといった自然観察を行う際に便利な本をご紹介します。夏休みの自由研究はもちろんのこと、この機会に身近な自然に注目してみませんか。

3F グリーンゾーン 「Sleeping Books ~あなたの手で目覚める一冊~」(〜9/15)

日比谷図書文化館の蔵書のうち、専門性の高さや時流など様々な要因で本棚に隠れている本たち。今回はそんな本の中から、開館当初に出版されたものに焦点を当てて紹介します。眠っている本を発掘すると同時に、再び手に取ってもらうきっかけとなる展示です。

展示 PICK UP

■ 3F ブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン ~10/13(金)

「新しい」フランス



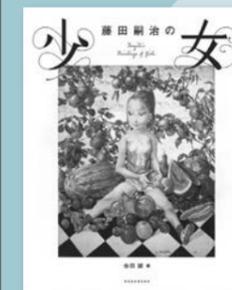
1858年の国交樹立以降、日仏両国は様々な分野で深く影響しあってきました。交流165年目を迎える当年に、「新しい」フランス」と題し、9つのテーマからフランスに関する資料を前編・後編に分けてご紹介します。ぜひ、これまであまり関心のなかったテーマの本も手に取って頂き、フランスの魅力・奥深さを感じてみてください。



前編は文学、歴史、食、芸術の4テーマです。



古典から現代までの本を、幅広く集めました。



『藤田嗣治の少女』

- 藤田 嗣治 絵
- 会田 誠 編
- 講談社
- 2018年



『心変わり』

- ミシェル・ビュートル 作
- 清水 徹 訳
- 岩波文庫
- 2005年

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

特別研究室企画展示
内田嘉吉文庫に見る
16〜19世紀における歴史と役割
港の時代
明治・大正期に通信省で日本の海軍行政に関する法律の整備などに尽力し、臨時横浜港設備委員、臨時神戸港設備委員も務めた内田嘉吉の旧蔵書には航海記や探検記の洋書が多く残されています。本企画ではそれらの中から港に関連する資料をピックアップして紹介します。外国との行き来が海上交通によって行われていた時代に海軍行政に携わった内田嘉吉にとって、海上交通と陸上交通の接点である港の発展は大きな関心事の一つであったに違いありません。16世紀から19世紀、それぞれの港はどのように成り立、どのような役割を果たしていたのか、貴重な資料をご覧ください。



マルセイユ(フランス)『La France maritime 1』/ 1837年

主な展示図書

- 『La France maritime 1』(1837年)
- 『日本遣使紀行』(1670年)
- 『Atlas du Voyage de La Perouse 1』(1797年) ほか

- 開室時間: 平日10:00~20:00 土曜10:00~18:00 日曜・祝日10:00~16:00
- 会場: 4階特別研究室 ● 入場無料

関連イベント

東京製本倶楽部25周年 日比谷でルリユール「海の本」展

▶開催中〜8月20日(日)まで ※最終日は16:00終了 ▶場所: 3階エレベーターホール



特別研究室所蔵資料の修復を手掛ける藤井敬子氏が代表を務める「東京製本倶楽部」25周年を記念したルリユール展示を開催しています。製本家各自が選んだ、港、海、船、船旅、青、夏など「海」をテーマにした本や、オリジナルのルリユール作品全19点を展示しているほか、製本用語も紹介しています。

calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2023年 8月							2023年 9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5					1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。



access

- 〔都営地下鉄〕
 - 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
 - 〔東京メトロ〕
 - 丸ノ内線
 - 日比谷線
 - 「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
 - 千代田線
 - 「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
 - JR「新橋駅」徒歩10分
- ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

8・9月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

8/2 (水) 日比谷野音100周年記念 関連講座 ロックの聖地・日比谷から辿る LOVE & PEACE+ROCK'N ROLL

登壇者：亀田 誠治(音楽プロデューサー・ベーシスト)
立川 直樹(プロデューサー/ディレクター)

日比谷野音は2023年に100周年を迎えました。都会のオフィス街に佇む、緑深き公園に息づく唯一無二の聖地である野音は数々のアーティストが伝説のステージを生み出しました。数々の音楽シーンを辿りながら、野音が日本音楽史に果たした役割とこれからの100年について日本の音楽界を牽引してきた立川氏と亀田氏がお話します。



左：立川直樹
右：亀田誠治

- 日時：8月2日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

8/4 (金) 「東京音頭」という新民謡の発見 —地域振興曲の誕生90周年—

講師：刑部 芳則(日本大学商学部教授)

2023年8月は、「東京音頭」が誕生してから90周年を迎えます。これほど都民に長く愛された音頭は珍しいです。しかし、1932(昭和7)年の「丸の内音頭」が翌年に「東京音頭」へと発展したこと、「東京音頭」を替え歌にした音頭が続出したことなどは知られていません。本講演では、「東京音頭」の誕生と影響をはじめ、その後の音頭の歴史に大きな存在となったことを紹介します。



- 日時：8月4日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

8/10 (木) 他 日比谷オペラ塾 オペラ・あ・ら・かると

オペラ初心者から愛好者までが楽しめる多彩なオペラの魅力を縦横に紹介します。8月は、<ヒロイン>シリーズの第3弾としてワーグナーのヒロインたちについて、音楽評論家でワーグナー関連のご著書も多い堀内修さんがお話します。

- 日時：8月10日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：各回60名
- 参加費：各回1500円



リヒャルト・ワーグナー
(1813-1901)

<参加申込>電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

8/19 (土) こども体験教室「手描提灯をつくろう」

講師：内川 偉全(吉野屋商店)

令和5年4月、千代田区指定無形文化財(工芸技術)として指定された「江戸手描提灯文字入れ」について伝統的な提灯づくりのわざを学びながら、提灯の文字入れを体験します。あわせて、昔の明かりの歴史についても実物資料を見ながら学びます。



(主催：千代田区、共催：日比谷図書文化館)

- 日時：8月19日(土) 14:00～16:30(13:30開場) ■ 対象：区内在住・在学の小学3～6年生とその保護者
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：10組20名(抽選) ■ 参加費：1組 500円(2名分の資料代)
- ※ホームページよりお申込みください。

8/23 (水) 上廣・日比谷ライブラリーレクチャー 私のチャレンジ人生 第1回「人に喜んでもらえ自分も楽しい仕事をしたい」

講師：宮田 亮平(金工作家・日本藝術院会員・日展理事長)

多様な分野で活躍する先駆者やチャレンジ精神あふれる人々の経験や志に学び、新しいことへ挑戦するためのヒントとなる情報を提供する講演シリーズ。第1回はイルカをモチーフにした「シュプリンゲン」や東京駅「銀の鈴」(4代目)などで作品を知られる宮田亮平氏。鍛金工芸技法の研究や後進の指導にあたりながら、創造性あふれる作品を多数制作する宮田氏がチャレンジ人生をお話します。



(主催：公益財団法人上廣倫理財団、共催：日比谷図書文化館)

- 日時：8月23日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：500円(千代田区民・学生は無料)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

9/1 (金) 他 ジェンダーについて考えよう Vol.1 多様な「性」を考える —日本の歴史と世界の文化に探る—(全2回)

講師：三橋 順子(性社会・文化史研究者)

日本の歴史と世界の文化から、現代の「LGBT+」につながる多様な「性」のあり方を考えます。男性同性間性愛や性別越境の文化は、現代だけではなく、長く豊かな歴史をもっていることをお話します。前編では歴史の中の男性同性間性愛(男色)文化の諸相を、後編では日本の歴史の中に見える性別越境文化の諸相についてお話します。



奥村政信
「閨の雛形」より

- 日時：9月1日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：2000円(全2回分)
- ※各回のお申し込みはできません。
- 前編参加時に一括でのお支払いをお願いします。

9/2 (土) 古書で紐解く近現代史セミナー 第44回 新発見の後藤新平資料から読み解く震災・復興

講師：伏見 岳人(東北大学大学院法学研究科教授)

今から100年前の1923年9月1日昼に、関東大震災は発生しました。この未曾有の災害からの復興を指揮した政治家が、後藤新平です。近年、この震災復興に関する新資料が発見されました。本講座では、当時の動きを新たな資料と視点からとらえ直し、現代の防災への教訓を探っていきます。(協力：公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所 市政専門図書館)



- 日時：9月2日(土) 14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民・学生500円)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

後藤新平(ピーアード博士著
『東京市政論』
/ 1923年)

9/8 (金) 初代国立劇場さよなら公演×日比谷カレッジ 国立劇場の思い出—制作の視点から

講師：神山 彰(明治大学名誉教授)

国立劇場とのコラボカレッジ第3弾では舞台の花である役者と、衣裳や道具を作る職人などをつなぐ制作の世界を見ていきます。約20年、国立劇場制作室で勤務していた神山彰氏が、国立劇場の「記憶遺産」としての魅力を、舞台制作の裏話と思い出エピソードと共にお話します。(協力：国立劇場)



- 日時：9月8日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

9/28 (木) 名画のなかの"恋人たち"—AI時代に問われる絵画の意義 第3回「ゴッホとゴーギャン —男同士の友情なくして名画は生まれなかった」

講師：永井 龍之介(永井画廊 代表取締役)

ゴッホとゴーギャン。その名前を聞くだけで、彼らの息遣いまで聞こえてくるファンは多いと思います。絵画だけでなく、文学、映画、演劇等でも数多く取り上げられ、その人間像、人生まで深く掘り下げられている彼ら以上の画家は他に知りません。個性豊かな二人が1888年晩秋フランスアルルで過ごした共同生活は、ゴッホの"耳切り"で終了しましたが、その2ヶ月強の時間が歴史を変えました。二人の友情なくして名画が生まれなかった"人間ドラマ"をお話します。



ポール・ゴーギャン
《肘掛け椅子のひまわり》
1901年

- 日時：9月28日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

9/29 (金) 千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座Vol.37 「春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」 実は見逃せない美術団体だった！

講師：田中 晴子(東京ステーションギャラリー学芸室長)

民間の歴史ある美術団体春陽会の、創立から1950年代頃までの展開を、裏話を交えながら解説します。小杉放菴、木村荘八など多くの著名な画家たちがこの会で活躍しました。個性ある画家たちが春陽会の展覧会で発表していたのは、どの様な作品だったのかお話しします。



岡鹿之助《山麓》
1957年

- 日時：9月29日(金) 14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)

I N F O R M A T I O N

1階特別展示室で開催中の江戸東京博物館 館外展示「隅田川—江戸時代の都市風景」では千代田区指定文化財の紀伊国屋三谷家コレクションの作品も展示されています。日比谷で江戸東京博物館のコレクションをご覧いただける機会をどうぞお見逃しなく！



歌川国貞(3代豊国)「東都両国橋川開繁栄園」安政5年(1858) 千代田区教育委員会寄託

江戸東京博物館 館外展示 「隅田川—江戸時代の都市風景」 ～8月6日(日)まで開催

1F
特別展示室
……………
入場無料

開室時間：月～木10:30～19:00、金10:30～20:00、土10:30～18:30、日・祝10:30～16:30(入室は閉室の30分前まで)

※本展は、東京都江戸東京博物館主催の展覧会です。

今年も打ち水を行っています！

打ち水は、夏の暑さを和らげるだけでなく、道に水を撒くことで清め、訪れる人を心地よく迎える日本のおもてなしの心が表れた風習です。今年も、日比谷地区18施設が参加して行われる「エンタの街 日比谷 打ち水月間2023」に参加しています。8月31日(木)までの平日夕方(雨天中止)打ち水を行い、皆さまをお迎えします。

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのおしらせ】

調べもの戦隊 レファレンジャー

本探しの助っ人「レファレンジャー」が今年もやってきます！
お子様の自由研究や工作、読書感想文のための本など、夏休みの宿題に役立つ本を、レファレンジャーと一緒に探します。
お気軽にお声かけください。(事前申込不要)

【子どもの読書相談】
宿題や自由研究の調べもの、読書感想文に適した本をお子様と一緒に探します。

【保護者の読書相談】
絵本の選び方などの読書に関する相談を承ります。

- 千代田図書館10階 児童書コーナー
7月21日(金)～8月31日(木) 各日9:00～17:00
休館日：7月23日(日)・8月27日(日)
- 四番町図書館2階 児童室
7月29日(土)～8月1日(火) 各日10:00～13:00、14:00～17:00